

大阪市大家政 中島 清子

1. 本研究は、わが国における小袖意匠の発展過程を史的に眺め、その時代的性格を考察しようとするものである。

2. かつて、小袖様式の成立を室町時代とし、以後、小袖意匠史という視野にたって室町時代・桃山時代の意匠の特質を把握し、江戸時代に入ってはその発展の一時期として元禄頃を取り上げ、元禄意匠が形成された過程を当時の文化荷担者であった町人達の生活感情との関連において捉えた。この元禄意匠を継承したはずの小袖はその後どのような展開を示したか。江戸時代後期に制作されたと伝えられる小袖を資料として、その意匠のもつ性格を一考したい。

3. 例えば、吉原細見模様小袖や近江八景模様小袖では意匠の物語性や説明性、技法の末梢的な精巧さ等をその特徴としているが、これら意匠の背後にあるものを追求し、その地盤を明らかにすることによって、当時の意匠形成の本質を問う。